

「都道府県版・等級別賃金表」

(全国／エリア／ローカル水準)

～自社の人事戦略と、地域の賃金水準をマッチング！～ の発刊について

日本の賃金水準には、地域によって大きな格差があることは広く知られている。

それぞれの地域に立脚した会社が、自社の賃金水準を決めるとき、周辺の一般的な賃金水準を考慮しなければならないことはいうまでもない。

また、遠く離れた地域に広く事業所を展開する場合にも、その地域の賃金水準を把握する必要に迫られる。

経営者・従業員の賃金に対する納得感を高めるためにも、人件費の投資効率を高める意味でも、賃金の地域格差を正しく把握して賃金政策に反映させることは大事な課題である。

しかし、そのための客観的なデータは意外に乏しく、仕方なく経験や勘に頼って決めている例が多い。

日本で唯一、地域別の賃金実態を系統的に把握できる資料は、厚生労働省の「賃金構造基本統計調査」(賃金センサス)の都道府県別集計である。ただ、同調査はやや専門的な内容であり、一般的な実務家が簡便に利用できるものとは言いがたい。

筆者は、同調査に基づいて適正な地方別格差を加味した「都道府県版・等級別賃金表」を1992年以降、毎年2月に発表してきた。

本書は、その内容をコンパクトなPDFデータのCD-ROMに収録したものである。パソコンで開いていただければ簡単に内容を閲覧・プリントできる。本データを貴社の賃金ポリシーを継続的に検討するための参考資料としてご活用いただければ幸いである。また、本書の第Ⅳ章で紹介するクラウド版の運用ソフト「Pvalue 賃金・賞与」を活用すれば、本書の賃金表を用いた賃金管理を簡便に実現できるので、ご興味があればお気軽にお問い合わせいただきたい。

2019年2月

株式会社プライムコンサルタント
代表 菊谷寛之
コンサルタント 田中博志

2019年度 都道府県版・等級別賃金表

| | |
|-------------------------------------|--------------|
| 「都道府県版・等級別賃金表」の発刊について | 1 |
| I 「等級別賃金表」解説 | 5～25 |
| 1 しくみを理解する | 5 |
| 2 運用方法をマスターする | 12 |
| 3 標準者モデル賃金を試算する | 19 |
| 4 諸手当を含めた賃金体系の考え方 | 26 |
| II 2019年度 都道府県版・等級別賃金表 | 27～29 |
| CD - ROM の目次（収録データ） | 27 |
| CD - ROM の使い方 | 28 |
| ※実際のデータは、巻末の付属 CD-ROM に収録されています※ | |
| III 参考データ | 30～32 |
| 都道府県版・等級別賃金表一覧 | 30 |
| 2018年度 都道府県別確定初任給 | 31 |
| 2018年度 地域別最低賃金改定状況 | 32 |
| 2017年度 役職別所定内給与額の分布特性値 | 33 |
| IV 専用ソフトで賃金表を運用する（ご参考） | 34～35 |
| 付属 CD-ROM | 巻末 |

水準の賃金表を選択する参考指標として、賃金の地域格差を加味した「都道府県版・等級別賃金表」を毎年2月に発表している。これは厚生労働省「賃金構造基本統計調査」の都道府県別集計に基づく初任給および賃金カーブの地域格差を加味したもので、次の3種類の金額水準を用意している。

- 全国水準**……全国展開を行なう企業に対抗する賃金政策をとる場合の望ましい賃金水準を想定している。大卒者のUターン就職、大手企業からの中途採用などを積極的に進める場合には、少なくともこの程度の基本給水準が必要という考え方で金額を設定した。
- エリア水準**……県庁所在地をはじめとする主要都市の中堅企業水準である。地元の優良企業として、周辺地域を含め広く人材を採用・配置するために必要な賃金水準を想定した。
- ローカル水準**……その他の一般市町村の地場企業水準で、限られた地域内で採用する場合を想定している。その性質上かなり地域差があるが、参考程度に表示した。

2018年春闘では人手不足を背景にベアが拡大し、厚生労働省集計の賃上げ額は1999年以降で最高の5,675円となった（賃金引上げ等の実態に関する調査）。同年秋の最低賃金の改定では、全国加重平均で26円アップの874円となり、全国加重平均1000円の実現に向けて着々と引き上げが進んでいる。また、2018年の賃金構造基本統計調査（厚生労働省）によると、同年春の学卒初任給は大卒女子を除いて全学歴で前年を上回る結果となった。

今後本格化する2019年の労使交渉では、世界経済の先行き不安を抱えながらも、労働需給のひっ迫や政府の賃上げ要請を反映した展開が予想される。

こうした状況を踏まえて「2019年度都道府県版・等級別賃金表」の初号値を改定した結果、全都道府県の平均値は次のようにアップした。

- ・全国水準・・・2,421円
- ・エリア水準・・・3,130円
- ・ローカル水準・・・3,662円

これらのデータを付属CD-ROMに収録した。第Ⅱ章を参照のうえ、十分にご活用いただきたい。

2018年度 地域別最低賃金額の改定状況

| 都道府県名 | 最低賃金 時間額【円】 | 前年度 | 前年比較 | 発効年月日 |
|---------|----------------|-------|--------|------------|
| 全国加重平均額 | 874 | (848) | 26円 up | |
| 北海道 | 835 | (810) | 25円 up | 2018年10月1日 |
| 青森 | 762 | (738) | 24円 up | 2018年10月4日 |
| 岩手 | 762 | (738) | 24円 up | 2018年10月1日 |
| 宮城 | 798 | (772) | 26円 up | 2018年10月1日 |
| 秋田 | 762 | (738) | 24円 up | 2018年10月1日 |
| 山形 | 763 | (739) | 24円 up | 2018年10月1日 |
| 福島 | 772 | (748) | 24円 up | 2018年10月1日 |
| 茨城 | 822 | (796) | 26円 up | 2018年10月1日 |
| 栃木 | 826 | (800) | 26円 up | 2018年10月1日 |
| 群馬 | 809 | (783) | 26円 up | 2018年10月6日 |
| 埼玉 | 898 | (871) | 27円 up | 2018年10月1日 |
| 千葉 | 895 | (868) | 27円 up | 2018年10月1日 |
| 東京 | 985 | (958) | 27円 up | 2018年10月1日 |
| 神奈川 | 983 | (956) | 27円 up | 2018年10月1日 |
| 新潟 | 803 | (778) | 25円 up | 2018年10月1日 |
| 富山 | 821 | (795) | 26円 up | 2018年10月1日 |
| 石川 | 806 | (781) | 25円 up | 2018年10月1日 |
| 福井 | 803 | (778) | 25円 up | 2018年10月1日 |
| 山梨 | 810 | (784) | 26円 up | 2018年10月3日 |
| 長野 | 821 | (795) | 26円 up | 2018年10月1日 |
| 岐阜 | 825 | (800) | 25円 up | 2018年10月1日 |
| 静岡 | 858 | (832) | 26円 up | 2018年10月3日 |
| 愛知 | 898 | (871) | 27円 up | 2018年10月1日 |
| 三重 | 846 | (820) | 26円 up | 2018年10月1日 |
| 滋賀 | 839 | (813) | 26円 up | 2018年10月1日 |
| 京都 | 882 | (856) | 26円 up | 2018年10月1日 |
| 大阪 | 936 | (909) | 27円 up | 2018年10月1日 |
| 兵庫 | 871 | (844) | 27円 up | 2018年10月1日 |
| 奈良 | 811 | (786) | 25円 up | 2018年10月4日 |
| 和歌山 | 803 | (777) | 26円 up | 2018年10月1日 |
| 鳥取 | 762 | (738) | 24円 up | 2018年10月5日 |
| 島根 | 764 | (740) | 24円 up | 2018年10月1日 |
| 岡山 | 807 | (781) | 26円 up | 2018年10月3日 |
| 広島 | 844 | (818) | 26円 up | 2018年10月1日 |
| 山口 | 802 | (777) | 25円 up | 2018年10月1日 |
| 徳島 | 766 | (740) | 26円 up | 2018年10月1日 |
| 香川 | 792 | (766) | 26円 up | 2018年10月1日 |
| 愛媛 | 764 | (739) | 25円 up | 2018年10月1日 |
| 高知 | 762 | (737) | 25円 up | 2018年10月5日 |
| 福岡 | 814 | (789) | 25円 up | 2018年10月1日 |
| 佐賀 | 762 | (737) | 25円 up | 2018年10月4日 |
| 長崎 | 762 | (737) | 25円 up | 2018年10月6日 |
| 熊本 | 762 | (737) | 25円 up | 2018年10月1日 |
| 大分 | 762 | (737) | 25円 up | 2018年10月1日 |
| 宮崎 | 762 | (737) | 25円 up | 2018年10月5日 |
| 鹿児島 | 761 | (737) | 24円 up | 2018年10月1日 |
| 沖縄 | 762 | (737) | 25円 up | 2018年10月3日 |

| 高賃金地域 | |
|-------|-----|
| 東京 | 985 |
| 神奈川 | 983 |
| 大阪 | 936 |
| 埼玉 | 898 |
| 愛知 | |
| 千葉 | 895 |

| 低賃金地域 | | |
|-------|-----|-----|
| 青森 | 762 | |
| 岩手 | | |
| 秋田 | | |
| 鳥取 | | |
| 高知 | | |
| 佐賀 | | |
| 長崎 | | |
| 熊本 | | |
| 大分 | | |
| 宮崎 | | |
| 沖縄 | | |
| 鹿児島 | | 761 |

資料出所:厚生労働省「地域別最低賃金の全国一覧」をもとに当社にて加工集計

(注) ()は平成29年度地域別最低賃金額。